

鳥羽市地域公共交通会議会議録

会議の名称	平成 29 年度第 1 回鳥羽市地域公共交通会議定期航路幹事会
開催日時	平成 29 年 5 月 29 日 (月) 13 : 30 ~ 15 : 00
開催場所	鳥羽マリンターミナル会議室
議題	1. あいさつ 2. 定期航路幹事会の委員の自己紹介【資料 1・2】 3. 協議事項 (1) 今年度の地域公共交通会議のスケジュール(案)について【資料 3】 (2) 鳥羽市地域公共交通網形成計画(案)について 4. 報告事項 (1) 地域公共交通確保維持改善事業の二次評価結果について【資料 4】 (2) 桃取小学校統合による定期船課の取り組みについて (3) 国土交通省海事局内航課長および経営改善対策官の視察について【資料 5】
会議資料	【資料 1】 席次表 【資料 2】 委員名簿(定期航路幹事会) 【資料 3】 地域公共交通会議スケジュール(案) 【資料 4】 事後評価要約版 平成 28 年度 【資料 5】 国土交通省海事局内航課視察の鳥羽市離島航路の現状説明資料
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	なし
出席委員	中井会長、山崎委員、西川委員、清水委員代理岩佐さん、小寺委員、山下委員、小久保委員、東川委員代理木田さん、矢田委員
オブザーバー	なし
欠席委員	世古委員、濱口委員、渥美委員
事務局	定期船課 野呂、大矢
<p>1. 開会</p> <p>○野呂事務局員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会 ・配布資料の確認 <p>○野呂事務局員</p> <p>例年、第 1 回目の地域公共交通会議で前年度の決算について報告させていただいておりますが、出納閉鎖が終わっておりませんので、次回の会議で報告させていただきたいと思っておりますのでご了承ください。</p> <p>○中井会長挨拶</p> <p>みなさん、おはようございます。</p> <p>本日は、地域公共交通会議定期航路幹事会にご出席いただきまして、ありがとうございます。</p> <p>日頃は、バス事業にご理解とご協力をいただきまして、また、交通事業の多岐にわたりご支援いただきまして、誠にありがとうございます。各離島町内会の皆様におかれましては、先日の国土交通省内航課視察のおりには島内視察や離島住民との懇談会に際しまして、大変ご尽力いただきましてありがとうございます。内航課長からも皆さんによりしくお伝えくださいますとお言葉も賜っております。この場を借りましてお礼申し上げます。</p> <p>あらためまして、この 4 月に着任いたしました鳥羽市定期船課長の中井でございます。今後ともよろしく願います。</p> <p>本来、定期船課長はこの会の事務局長であります。現在のところ会長の職を賜っており、本日は議長も務めさせていただきます。</p> <p>少し説明させていただきますと、昨年 12 月の前副市長の退任に伴い、1 月の会議では定期船課長は</p>	

会長代理ということで議事を進めさせていただいたと思います。

その後、前市長の意向により、4月20日までの在任中は副市長を置かないということでしたので、暫定的に会長に定期船課長が任命されており、現在に至っております。

また、新市長への交代後、新副市長につきましては、5月15日の市議会本会議におきまして既に議会の同意は得られておりますが、着任は6月2日からということ聞いております。

新副市長が着任されましたら会長の職についていただき、私、定期船課長は以前のように事務局長をさせていただきますので、委員の皆様にはご理解、ご了承のほど、よろしく願いいたします。

まだ不慣れな点ばかりですが、本日はどうぞよろしくお願いいたします。

2. 定期航路幹事会の委員の自己紹介

資料1、2をもとに出席者全員により自己紹介を行った。

3. 協議事項

(1) 今年度の地域公共交通会議のスケジュール(案)について

○野呂事務局長

資料3について説明

○中井会長

事務局に説明させましたがご質問やご意見がありましたらよろしくお願い致します。

(意見・質問なし)

(2) 鳥羽市地域公共交通網形成計画(案)について

○大矢事務局長

鳥羽市地域公共交通会議

現時点での事務局からの修正点

- ・計画の年度は鳥羽市総合計画に合わせて、平成29年度から平成32年度。(P1)
- ・現状の部分に平成28年度の人口、旅客人数等データを追加する。(P2~P11)
- ・小型船の導入に関して、「導入をめざす」から「導入を検討する」へ変更。(P26)
- ・評価目標の表 市民満足度(4)を削除。周遊券発見枚数(5)から(4)へ変更。(P26)
- ・「※第5次鳥羽市総合計画の市民アンケートによる数値であり、最高点が5点で最低点が1点となる。」を追加(P29)
- ・バス幹事会で出た意見の概要

○西川委員

午前の会議で、6p現状の交通機関の中に東京への夜行バスを追加してはどうかという意見があったが、同じ観点でいうと民間の小型観光船を追加してはどうか。安盛丸や王将さんなど、葬式や旅行の時、早朝や夜遅い時なんかはたくさんのお客が利用しており、あきらかに公共交通の一端を担っているのので、記載は必要かなと思います。

○大矢事務局長

小型遊覧船の認可の関係はどうなりますか。

○矢田委員

不定期航路事業です。

○山崎委員

基本乗り合わせだと発着点からの遊覧しかできないが、チャーターで2点間輸送であれば問題ない。定期船の時間外をフォローするという形であれば、そのように記載すればいいと思います。

○大矢事務局員

不定期航路船については、記載することとしたいと思います。

○西川委員

29pの数値目標について、周遊券に力を入れたいとなっているのに、目標値がかわっていない。力をいれるのであればもう少し数値を上げて設定した方がいいのではないかと感じました。

○大矢事務局員

確かに、周遊券は観光客を対象としており離島人口の減少とは関係ない指標なので、増える目標を目指していきたい。次回までに上げる方向で具体的な数値を提示したいと思います。

○西川委員

豊かな自然と固有の文化を持っている離島の魅力を最大限に利用するという表現を使っていたので、周遊券を増えるように頑張ってくださいと補助金をお願いする時にも言いやすいのではと思います。

○清水委員代理岩佐さん

市民満足度は何点満点ですか。

○大矢事務局員

5点満点です。

○山崎委員

26pの小型船の導入検討についてですが、小型船とは何トンの船でしょうか。

○大矢事務局員

19トンを基本とします。船員費、燃料費、維持管理費などは安くなることは見込めるが、その分欠航が多いとか、ローテーションのやりくりが難しいなどプラスマイナスがありますので、そのあたりを検討していきたい。

○野呂事務局員

過去にも同じことが議論されてきております。

○矢田委員

平成24年に定期船課の中で協議しましたが、小型船は時期尚早という結論になった。鳥羽の海域の気象、海象はとても荒れる日が多いので利用者の利便性を損なうのではということで、しおさいを作る時には検討しましたが、実際につくったのは従来型のしおさいとなりました。引き続き検討をしていますが、またそういった話をさせていただきたいと思います。

○西川委員

インバウンドについて、サミット後外国人観光客は増えていると思います。18pの5.5.4の目標は書いてある通りでいいと思うが、具体的な事業が見えてこない。観光協会との連携になるとは思いますが、そのあたりを盛り込んでいただきたい。外国語表示についてもだいたい進んできている。

○大矢事務局員

個別事業としては、27p広報事業なので外国語表記の充実を図るところで止まっている。公共

交通機関としてどこまでできるのかという問題もある。それ以外のものがあれば盛り込んでいきたい。私の方から皆さんにお聞きしたいのが、定期船課職員として頭で考えると定期航路を維持していくためには、人口減少の中では観光客を増やすのがいいと考えますが、観光客が2倍、3倍と増えれば離島に住んでいる皆さんの生活には影響がでると思います。プラスマイナスがあります。実際に離島にお住まいの皆さんは観光客についてどう思われますか。

○西川委員

答志地区は、体験学習など子供たちが関東圏、中京圏、関西圏からかなりの数がきており、すでに交流を行っている。外国人に対しても、気軽に話しかければ応じているし、邪魔臭いという意識は答志に関してはないと思います。かえって日向ぼっこしている高齢者が相手してくれれば、ボケ防止にもなる。双方にとっていい。観光客に対しては、離島は豊かな自然と固有の文化、風俗があるので売りには十分。受け入れる体制は取り入れるべきと思う。外の人達にみってもらうことにより、離島の人たちのたばこのポイ捨てや、防犯体制を改善することにもつながる。いろいろな意味で交流があった方がいい。島のためにも鳥羽市全体のためにもなると思う。

○東川委員代理木田さん

坂手地区は、泥棒に入られた。たくさん来ると、そういう警戒はあるかもしれないが、歓迎はしていると思う。多くなった時はやはり防犯は心配です。

○大矢事務局員

計画の中では、簡単に観光と書いてしまいましたが、実際は島によっても事情も違うと思います。他の島はどうですか。

○小久保委員

神島地区は、島一周のウォーキングコースがありますのでほとんどがそれを目的で観光客が来ている。町内会としても、ウォーキングの道筋は草刈りを行っている。あまり汚いと格好悪い。

○小寺委員

菅島地区は、小学生が島っ子ガイドとして島を紹介をしている。宿泊施設は4件しかないので、観光客が増えた場合、宿泊できないかもしれない。神島地区と同じで最近はウォーキングのお客が増えてきたので、道路の整備などを町内会でも対応しているところです。

○山下委員

桃取地区は、海ごみの浜など多くのお客がくることがあるが、焼き牡蠣を食べるとか島のパン屋に来るとか目的を持ってくるので、答志のように町中をぶらぶらする観光客は少ない。だから警戒することはない。最近になってたまに見かけるようになった程度。つり客は海水浴場にテントを張ったりしている。

○西川委員

答志地区は、カップルで地図をもって路地を歩く観光客が多く見かけるようになった。

○中井会長

定期船課に異動になって、定期船課外国人の一人客が結構いることに気づかされた。

○西川委員

観光客が増えることに対して、離島住民にアレルギーがあるかということではないと思う。

○大矢事務局員

私の頭でっかちな中で観光客増を目標と書かせてもらった。メリットデメリットのある話なので、一

度お聞きしたかった。

○東川委員代理木田さん

英語は話せなくても、坂手弁で対応している。それで通じる。

○西川委員

外国人にも二種類ある。語学が整っていないと文句をいう方と、地元の方と触れ合うことが目的で来る方がある。食堂でも日本語でなんとかコミュニケーションをとっている。そういうのを求めてやってくると思う。

○大矢事務局員

外国人向けにきれいに整えすぎるのがよいのかどうかという意見もある。外国人と一生懸命やり取りすることがいいのではないか。

○山下委員

それでもやはり、よその人が町中をうろうろする数が増えたら警戒はすると思う。

○大矢事務局員

人数の問題かなと思う。佐久島では、地元2割、観光客8割。地元の4倍の人が来る。鳥羽ではそうになったことがないが、想像するに今の生活ではない違う生活があると思う。

○山下委員

そこまで行くと、意識だけでなく、仕事内容も変わってくる。離島で観光の仕事をするようになる。

○西川委員

そうなったらそれに見合った生活様式になってくると思う。

○小久保委員

神島は愛知県に近いので、観光客は愛知からくる方が多いように思う。特につり客は多い。把握できていないが、船具とかで盗難もあるように思う。不定期の観光船が愛知からでている。幅の広いどっしりとした船で荷物も運んでいる。

○中井会長

ありがとうございます。ほかにありませんか。

○清水委員代理岩佐さん

周遊券は観光客ということですよ。普通券で観光客数なのか市民なのかというカウントはしていないのか。今後その取り組みをしていくことはないのか。観光客のデータがないとどれだけ増えたかが実績がでにくいのではないのでしょうか。

○中井会長

以前から、定期船課に対して観光客数を把握するよう言われている。一度はやってみないといけない。一日90便運航していますが、だれがどのようにカウントするのかを検討している。制度として観光客と住民の料金に差をつけるという補助制度もある。補助制度に乗ろうとすると3年間ぐらいカウントしなければいけない。いつとは言えないが、いつかはしたいと考えている。その折にはご協力をお願いします。

○西川委員

それはチケットでカウントするのではなくて、離島側で従事している人は地元の人なので、離島側で

カウントすればわかる。帰省客は観光客扱いでよい。地元の人をカウントするのはできるはず。

○中井会長

全体の利用者数から地元の方の人を引くという計算方法になると思う。

○大矢事務局員

実数という一回数えないとわからない。今でも離島観光客数は出している。それは定期、回数券を除いて、ある一定の案分率をかけて出している。観光協会の世古理事がおっしゃってましたが、近鉄なども全体から案分率をかけて観光客数をだしている。観光客の増減等の動きを見るのであればそれでもわかる状態にはなっておりますが、一度は実数をカウントしてみたい。

○山下委員

近鉄は、交通量調査を年1回行っている。乗ったところと降りたところを調査している。平日一日かけて行く。近鉄の場合は定期イコール通勤客。それ以外を観光とみていると思う。

○大矢事務局員

それでも結構近似値はでるかもしれない。ただ定期船の場合は地元の方が普通券を買うことも多い。

○野呂事務局員

定期船課としては、電車に乗って離島行く方がどこから来た方がどこのエリアからが多いのかという分析もしたい。それがわかるとセールスもしやすい。近鉄さんでどれだけ区分ができるのかという問題もあります。

○大矢事務局員

離島側で往復券を売るなど方法もある。その時は離島の方は住民用チケットを買うなどの協力も必要。

○西川委員

離島住民割引のための調査であれば、答志・和具町内会は全面的に協力する。

○中井会長

国の離島住民割引の補助については、離島住民は割引になるが、その半額は市が出すことになる。国の補助金は減る部分もある。その点は勉強させてください。

○山下委員

消費税が導入されるときに、増税する前に回数券をまとめて買う。増税後の半年間は地元は回数券を使うので、普通券はほとんどが観光客となるのではないか。

○矢田委員

離島で大きな工事があると、工事関係業者が回数券、普通券を結構買う。その区別がむずかしい。

○中井会長

ほかになにかございませんか。

○清水委員代理岩佐さん

バスについて、実験的に夜間のコミュニティバスを走らせてもらえないか。土曜だけとか、イベントの時だけとかでいいので考えてほしい。それで旅館を訪れた客が市街地を訪れるといいなと思う。

○大矢事務局員

事前に認可が必要となるが、不可能ではない。ただし、三重交通等が対応できるかという問題もある

ので検討させてほしい。

○野呂事務局長

本土側では、高齢者の運転免許証返納が多いと聞いている。離島の高齢者はどうですか。バスの乗り方教室というのもある。離島でもバスに乗ったことがない人もいると思う。

○小久保委員

70歳ぐらいまでで免許は返納することが多い。

○西川委員

離島の住民は結構中村クリニックへ行くのにバスに乗っている。

○矢田委員

朝の便は我々が乗り継ぎ券を配るぐらい、多くの人利用してもらっています。

○野呂事務局員

市立伊勢病院へ行くのにバスを利用した方が便利ですのでそのあたりも考えていきたい。

○西川委員

伊勢病院は五十鈴川駅からそう遠くない。離島の住民で歩ける方は、歩くのは苦にしない。

○野呂事務局員

また乗り方教室開催の時は、よろしくおねがいします。

○西川委員

昼の便の乗客数が非常に少なくてもったいない。離島の人数がそろった場合のみ、内回り便を運航するという形を考えてみる価値はあると思う。それを小型船を新造するのか、既存の遊覧船に委託するのかという問題もある。

○小久保委員

11時の便に乗ってきたが、人数は少ない。しかし、旅館業者に昼食を食べにいく観光客がある。それを無くすと観光業者が困る。

○西川委員

神島は現状のままで、それ以外の離島を昼間の時間帯は右回り、左回りで運航すればいいと思う。

○中井会長

どことも昼間の時間帯は少ない。山崎さん、我々のように定期航路やっているところが、その間で不定期便を出すというのはどうなんですか。

○山崎委員

結果的に人数が集まったら運航するということになる、結局1時間おきに運航するということになるのではないと思う。それであつたらそういう形でダイヤをくんでもらった方がいいのではと思う。人数といっても何人集まったら運航するのかという問題もある。

○西川委員

例えば1時台に4便出ていれば、それが1便で済む。1時と3時は右回り、2時台は左回りというふうに、トータルで見れば一時間ごとにでていることになる。早く着くか遅く着くかの違いだけ。

○山崎委員

それでダイヤを組めるのであれば定期便としてやってもらったらいいと思う。

○矢田委員

定期船課としては船の効率化になってありがたい。労働時間の削減にもなります。実際にありました内回り便の菅島から答志の便は、使い勝手が悪い、時間がかかりすぎるといってなくしました。地元の住民の方の反発は大きいと思う。

○中井会長

乗ったら早く着きたいという思いは強いです。

○西川委員

答志は、桃取便を合わせるとかなりの利用の本数がある。だから日中の答志の便の人数が減っている。桃取の方が早い。だから時間がかかる内回り便は不人気だったと思う。しかし、定期船課のことで、市のお金のことを思うと必要なのかなと思う。僕らは住民の声を届ける役目ですが、それだけでなく逆に島の人自身が努力しなければいけない部分も訴えていかなければいけないのかなと思う。答志の人がそう思っているわけではなく私個人の意見ですが、そういう観点で話題を提供させてもらいました。

○山下委員

船がつくときに船内放送で「ご乗船お疲れ様でした」というが、地元用でなく観光客用で「ご乗船ありがとうございます」が普通ではないかと思う。それと桃取町の住民からでている意見ですが、定期船棧橋で集札するのに無言で行っているが、ありがとうぐらいは欲しい。他の地区ではありがとうの言葉もあると思う。棧橋職員も定期船があることで仕事ができる。地元からは言いにくい、意識の改革が必要ではないかと思う。

○中井会長

我々から言えることは言いたいと思います。

○東川委員代理木田さん

いいようにもなった。挨拶もしてくれる。おはようございます。すごくいいと思う。

○西川委員

桃取の人は礼儀正しい。その仏頂面の人にこちらから挨拶してみてもどうか。みんなが声をかければその人も声をかけるようになると思う。

○矢田委員

一人で集札しており、桃取航路はたくさんの方が降りられますので、それに夢中になってしまっているのだと思うが、またこちらの方で対応させていただきます。

(以上で意見なし)

○中井会長

形成計画案については、本日いただいた意見を参考にさせていただいて修正版を作成し、後日再度ご審議いただけるように事前にお手元にお届けさせていただきます。次回開催時は、よろしくおねがいます。

報告事項

(1) 地域公共交通確保維持改善事業の二次評価結果について

○大矢事務局員

資料4について説明。

(意見、質問なし)

(2) 桃取小学校統合による定期船課の取り組みについて

○野呂事務局員

4月から桃取小学校が鳥羽小学校に統合になって、スクールバスで通学しております。これまで教育委員会、保護者の皆さんの意見をいただきながら取組をしております。船内でも棧橋でも小学校を優先させてもらったりしています。今のところ大きなトラブルもなく日に日に慣れてきてもらっています。また、何かございましたらご指摘をお願いします。

○山下委員

子供達について、朝日があたり非常に熱いので、カーテンを設置できないかと要望していますが、今度の定期検査の時に対応するとの話を聞いている。それまでの間なんとか対応していただけないか。

○中井会長

教育委員会から話をもらってから、船長が日の当たらない方に子供達の席を確保しています。カーテンをつけるにしても防炎のものが必要になり、かなりいい値段になります。今年度はその予算もとっていないので、現状は日の当たらない方に席を確保する事で対応しています。

(以上で意見なし)

(3) 国土交通省海事局内航課長および経営改善対策官の視察について

○野呂事務局員

資料5について説明。

(意見・質問なし)

5. 閉会

○中井会長

平成29年度第1回鳥羽市地域公共交通会議定期航路幹事会の議題について全て終了しました。委員の皆様のご協力いただきましたおかげで会議もスムーズに進行できました。6月中に開催を予定しております次回定期航路幹事会について再度出席をお願いしまして会議を終了させていただきます。本日はお忙しい中ありがとうございました。